

# 9-8

## 多動性マシンを用いた高齢者の身体機能維持への取り組み

マシン導入後1年6ヶ月が経過、その経過と効果を検証する。

介護予防

地域開放

吉祥寺ナーシングホームデイサービスセンター

生活相談員・介護職 阿 紀子	生活相談員・介護職 幸尾 真紀
武蔵野市吉祥寺北町2-9-2	
TEL：0422-20-0886	E-mail：kijhotori@kichijoji-home.com
FAX：0422-20-0802	URL： <a href="http://www.kichijoji-home.com/">http://www.kichijoji-home.com/</a>

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	社会福祉法人至誠学舎東京を母体とする吉祥寺ナーシングホームデイサービスセンターは1日定員40名の通所介護サービスです。
----------------------------	---

### 〈取り組んだ課題〉

- ・ マシン使用を目的とした通所サービス利用
- ・ 多動性マシン「モタサイズ」使用を安全に継続する
- ・ マシンだけではない介護予防のための体操の確立
- ・ 地域の中のセンターとして、マシンの地域開放

### 〈具体的な取り組み〉

#### 機能訓練加算への取り組み

対象者：デイサービス利用者の希望者

その割合と理由：利用者介護度 支2～介3 22名

日人数 3～10名 週延べ41名

取り組みの具体的な手法：マシン 個別訓練 集団体操（セラバンド含む）体カテスト

取り組み時間や期間：マシン15分 集団体操45分

取り組みの手順：体カテスト、アセスメント、モニタリング、外部研修参加、室内勉強会

取り組んだ職員数や構成：看護職員2名を主に、介護職員2名が毎日マシンを実施。個別訓練は利用中の生活の中の動きを意識づける。

必要とした道具や費用：セラバンド2万

モタサイズマシンリース料 月/83,000円

#### マシン地域開放への取り組み

部所間の連携：主にデイサービス職員が実施、施設内の在支と連携

### 〈活動の成果と評価〉

- ・ マシンが開始され平成19年3月から継続している方が全体の半数以上であり、機能訓練が体力の維持とセンター利用の動機付けになっている。
- ・ 多動性マシンということが、身体の負担にならずに継続できる要因のひとつである。
- ・ 体カテストの結果、マシンを継続使用された方は数値が向上、又は現状維持の方がほとんどであった。
- ・ 地域からの要望により、毎週水曜日の夕方マシンを地域開放した。1回250円。初回に体カテストを行い、利用について同意書をいただく。毎回血圧測定を実施する。地域の方10名以上の登録があった。

### 〈今後の課題〉

- ・ 日常生活の動作が、大事な機能訓練であるという意識を、より浸透させていくことが必要である。
- ・ 日々の記録、モニタリングなど常に見直しを心がけいつでも現状に即した迅速な対応を行う。
- ・ マシン地域開放の回数等について検討を続ける。

### 〈参考資料など〉

【メモ欄】